

埼玉親善大使レポート

派遣先：ハンガリー
新井麗乃亜

私のプログラムは1年間のハンガリー留学です。ハンガリーの高校は9年生から12年生までが通いますが、全体で600強くらいの人数なので日本の学校に比べると小さめです。クラスによって重きを置いているものが違い、理系のコースや英語のコース、ドイツ語のコースなどに別れていました。私が入ったクラスはノーマルクラスです。車やバス、自転車で登校する人はいるものの、日本と違って電車通学がないため、学校は早めの7時50分に始まります。大きな休みは5時間目後の昼休み（25分）だけなので、大体12:25～14:25と、早めの帰宅時間です。ある時、すれ違った先生に声をかけられ、折り紙クラブに参加したこともありました。そこで折ったのは鶴と手裏剣。以前お店でも折り紙を見かけた事があり、ハンガリーでも折り紙の存在は知っている人が多いようです。

学校生活と別に、私が習い事として通っていたのは音楽学校でした。私は先生について歌を習い、多い時では毎日通うこともありました。他の生徒と共に1日レッスンを受れたり、大会のため2泊3日の遠征に行ったり、非常に多くの思い出が出来ました。

私の団体はオリエンテーションや、観光などの現地でのアクティビティが盛んで、休日や連休には他の留学生らやボランティアと旅行へ行ったことも思い出です。私はこの留学中いつも映像を撮っていたのでいつかハンガリーでの留学生活や街並みの様子を映像で紹介できたらいいなと思います。

それとは別に、個人的に出かけることも多く、ミュージカルが好きな私は都市部まで見に出かけるため往復9時間かけて観に行くこともありました。また長い時間の電車内で、向かい席の方に声をかけて交友関係を築くのも楽しく、日本のアニメなど共通の話題があることはとても大切だと思いました。

私はPowerPointなどを使って埼玉について紹介しました。写真や紹介文はもちろん、埼玉にまつわるアニメや映画作品なども紹介しました。私の団体では世界各国から派遣されてくるので、タイや香港からの派遣生にクレヨンしんちゃんの名前を出すと、とてもワクワクとした反応が見られました。「ワンパンマン」という作品の主人公の名前が「さいたま」だったため、現地の人にも簡単に名前を覚えてもらうこともできました。加須市の鯉のぼりや岩槻の雛人形の紹介は、埼玉を知ってもらうと共に日本の文化について同時に知ってもらうことができました。現地でも太宰治が有名だったため、太宰治が大宮で人間失格を書いていたなどの豆知識も挟んで話しました。私は日本で撮影したもので映像を作っていたので秩父や川越の自作動画も見せながら紹介することもできました。

渡航前まで、どんなところが想像も付かなかったハンガリーは、物価が安い、治安が良い、食事が美味しい、街が映える、道が綺麗。など良いところばかり。人柄が基本的に日本人と似ていたのも予想外の事でした。ハンガリーは海がないため魚をあまり食べないことが食生活の大きな違いです。またビーガン用のメニューも多く見かけました。

今回の留学では無知であったハンガリーの生活に触れ、たくさんの貴重な経験ができたと同時に、大好きな埼玉についてもPRできました。今後も海外に行く予定があるため、引き続き埼玉についての知識を高め、より多くの人に紹介していきたいです。



船から撮影した国会議事堂



Museum of Fine Arts Szépművészeti Múzeum ブダペストにある美術館・博物館